

校長雑感 ～「有終の美」と「バトンタッチ」に向けて～

度々の寒波の影響による厳しい寒さが続いており、春の訪れが待ち遠しく感じられます。積雪の際には、学校周辺や駐車場の除雪をしていただき、本当にありがとうございます。

さて、今年度も残すところわずかとなり、学校では今年度の締めくくりと来年度の準備に向けて取り組んでいるところです。先日は、2年生の「立志式」を実施していただき、夢や目標、なりたい自分に向けて志を立てるとともに、支えてくださる周りの人への感謝の気持ちを持つ機会となりました。1年生は、総合的な学習の時間で探求してきた「西粟倉の魅力再発見」を、村のSDGs報告会で発信する機会をもつことができました。また、小学校6年生には「新入生説明会」を行い、中学校の様子を知ってもらうとともに、入学に向けての心構えとなる機会となりました。(生徒会本部役員の生徒が分かりやすく説明してくれました。ありがとう。)

3月は、3年生にとって、義務教育9年間の最後の月となります。悔いの残らない中学校生活を送り、「有終の美」を飾って欲しいと願っています。すでに、自分の進路が決まった人もいれば、これから行われる岡山・鳥取・兵庫の公立高校一般入試に臨む人もいます。不安や焦りもあることと思いますが、当日に向けて気持ちと体調を整え、本番ではこれまで努力してきたことのすべてを発揮して欲しいと願っています。また、最後まで学級全体で仲間のことを思い、これまで培ってきた“共に頑張る団結力”を発揮して欲しいと思います。そして、入試が終わると、いよいよ14日(金)に卒業式を迎え、本校を巣立っていくこととなります。本校との「別れ」であるとともに、初めて自分で選んだ道を歩み出す「新たな旅立ち」でもあります。

卒業式は、1年間の本校教育活動の集大成の場、全校生徒・教職員が心をつなげて活動できる最後の学校行事です。卒業生と在校生がそれぞれの思いを込めて力を合わせ、感動あふれる最高の卒業式にしたいと考えています。また、これまでお子様の成長を陰日向になり、温かく見守ってこられた保護者・家族・地域の皆様に見守られる中、厳粛で感動的な卒業式、次のステージに進む卒業生の背中を力強く後押しする卒業式にしたいと思います。そして、そのような卒業式の中、卒業する3年生には、ふるさと西粟倉を誇りに、これまで支えてくださった方々への感謝の気持ちを持ち、堂々とした姿で旅立って欲しいと願っています。

1・2年生は、今までお世話になった3年生の卒業式に、感謝の気持ちをもって臨んで欲しいと思います。皆さんの総力により、3年生にとって、感動的で一生忘れられない思い出となるよう、役割を自覚して素晴らしい卒業式を創り上げましょう。そして、3年生からのバトンをしっかりと受け取り、次は皆さんが、先輩・リーダーとして本校の新しい歴史を創る主役となります。3学期の皆さんの様子から、すでにその意識を持ち、取り組んでいることを感じますが、さらに日々の学校生活を充実させて欲しいと思います。そのために大切にして欲しいことは、学校教育目標の「自律」・「協働」・「挑戦」、生活目標の「考動」です。このことを再度意識して生活し、修了式を迎えください。そして、来年度につなげていきましょう。

心理教育 2月6日 (ストレスと上手につき合う方法)

1,2年生を対象に、スクールカウンセラーの藤原先生による授業を実施しました。



入学説明会 2月7日

新入生と保護者の方を対象に中学校生活についての説明や授業見学などを行いました。



立志式 (2年生) 2月13日

これまで積み上げてきたキャリア教育の締めくくりとして、「なりたい大人像」について真剣に考える機会となりました。



SDGs 発表会 (1年生) 2月18日

1年間取り組んできた探究学習(あわくら学)のまとめとして、SDGsの観点からの発表を行いました。発表の様子はNHKのニュースでも取り上げられました。

